

その後、イエスはガリラヤを巡っておられた。
ユダヤ人が殺そうとねらっていたので、
ユダヤを巡ろうとは思われなかった。(1)

ヨハネによる福音書 7章 1～9 節

「不信と憎しみのただ中で」



ときに、ユダヤ人の仮庵祭が近づいていた。(2)

水野 源三

みずの げんぞう

1937～1984年

クリスチャン詩人。

9歳のとき、集団赤痢から脳性
小児麻痺に。

入信後、瞬きだけで信仰の詩作
を開始。

素朴で心に響く作品を数多く遺
した。

「主に愛されて」

なんのために生きるのか
わからないときにも
生きなければ 生きなければ
主に生かされているのだから
主に生かされているのだから
行くさきはどこなのか
わからない道でも
行かなければ 行かなければ
主が先に行かれたのだから
主が先に行かれたのだから
いつわりをいう人や
かたくなな人をも
愛さなければ 愛さなければ
主に愛されているのだから
主に愛されているのだから

「ヒヤシンスよ」

寒さがぶりかえし
北風が吹き出し
雪が降り出すから
ヒヤシンスよ
まだ芽を出すな
神様が
定められた
その時まで
静かに待てよ



「聞こえる」
窓ガラスを
うちたく
北風の音に
何度も
たおれて
カルバリの丘へ
歩み行かれた
イエス様の
はげしい
息づかいが

「知れば知るほど」
み愛を知れば知るほど
わがつめたさを知る
み力を知れば知るほど
わが弱さを知る
み恵みを知れば知るほど
わがいやしさを知る
主を知れば知るほど
わが喜びが楽しくふくらむ



「この世では」
きびしい冬を
耐えしのび
生きつづけて来たのに
花を咲かせなければ
引きぬいて
ふみにじるような
この世では
主イエス様の
愛を
知らなかったら
どうして
生きて行けようか



機織り虫 (ハタオリムシ)
(ギリギリス、コオロギの古名)

「かぎりある命を」
御^{みめぐ}恵みを感謝し
御^{みあい}愛をたたえて
美しい声で鳴く
涼しい窓への
ハタオリムシは
神様から
与えられた
かぎりある命を
悲しみもせず
なげきもせず
恨みもせず

時代のタイコモチ。
汚濁の泥の中ではねるムツゴロウのようなもの。

— 評論家 ^{さたかまこと} 佐高信 の言

クラレンス・ジョーダン

1912～1969年

アメリカ南部バプテストの牧師。

ギリシア語に堪能な新約聖書学者でも。

ジョージア州に人種の垣根を超えた共同農場「コイノニアファーム」を創設し、「山上の説教」を現実のものにしようとした。

「ふたりがバプテストを受けて、教会に加わったとき、牧師は同じ質問をしたよね。『イエス・キリストをあなたの救い主として受け入れますか』。ぼくは『はい』って答えたけど、何て答えた？」

「クラレンス。ぼくだって、あるところまでは主イエスに従うよ」

「あるところまでって、十字架のところまでだろ」

「そのとおりだよ。十字架のところまで、ぼくは従っていくよ。でもね、十字架の上には上らない。十字架につけられるのは嫌だよ」

.....

「クラレンスは、自分が出会った最高のクリスチャンでした。その兄弟に生まれたことを、自分は何よりも誇りに思っています」



コイノニアファーム

世はあなたがたを憎むことができないが、わたしを憎んでいる。
わたしが、世の ^{おこな}行っている ^{わざ}業は悪いと ^{あか}証ししているからだ。(7)

わたしの時はまだ来[・]ていない。(6)

まだ、わたしの時[・]が来[・]ていないからである。(8)

* 「時 (καίρ^{カイロス}ος < καίρ^{カイロス}ος, οὔ, ὄ)」: 単なる時間の経過を表わす日常のそれ (χρόν^{クロノス}ος, ου, ὄ) ではなく、「特定の時」を意味する語。丁度良い時、適切な時、的確な時などといった意味での、定まった もしくは定められた「特別な時」を意味。